

## 第6回久留米市総合計画審議会

### 1 開催日時

平成26年5月20日(火)10時30分～12時00分

### 2 会場

久留米市民会館 第1会議室

### 3 出席委員 (50音順)

委員 30名

秋永峰子委員、石井俊一委員、石井宏和委員、市丸祥子委員、石橋力委員、大森洋子委員、岡リツ子委員、空閑重信委員、川地東洋男委員、坂井政樹委員、佐藤晶二委員、白水美弥子委員、芹田隆子委員、田島スマ子委員、津留崎芳春委員、永延桂子委員、中山末男委員、西依直子委員、橋本政孝委員、原口和人委員、深井敦夫委員、藤田八暉委員、堀田富子委員、宮崎須美子委員、本村康人委員、山下永子委員、山下浩子委員、吉田輝彰委員、八尋義伸委員、渡邊由美子委員

### 4 欠席者

委員 10名 (50音順)

池尻登委員、井手信委員、緒方義範委員、片岡靖子委員、北里誠也委員、高山美佳委員、永田見生委員、橋本安彦委員、藤田雅俊委員、米倉秀之委員

### 5 議事

- (1) 久留米市総合計画審議会 中間報告(案)について
- (2) 久留米市新総合計画 第3次基本計画(案)について
- (3) その他

## 発言要旨

### 1. 開会

■事務局より、過半数の委員が出席していることにより、会議が成立していることを報告。会長より傍聴者がいないことの報告。事務局より資料の確認。

### 2. 議事

#### ■事務局

(久留米市総合計画審議会 中間報告(案)、久留米市新総合計画 第3次基本計画(案)について説明)

#### ○空閑重信委員

人口に関して、「自然動態」の出生者数と死亡者数の差がマイナスになったとのことだが、どの期間でマイナスになったのか。また、減少傾向が減るということはプラスになるということなのか。「自然動態」という言葉は市民の方が使うには、言葉としてなじみがないと思う。普通に使われているのであれば、これでも構わない。

#### ■事務局

「自然動態」につきましては、これまではプラスだった。は平成23年度から減少に転じている。「自然動態」、「社会動態」という表現については、一般的に行政等では使われている言葉である。カッコ書きで補足説明している。

#### ○山下永子委員

策定にあたっての基本的視点として、グローバル化なども視点として揚げられているが4頁に弱者、マイノリティに対する虐待、暴力の例が出ているものの外国人という記述がない。

9頁の生活指標の把握方法で、意識調査と市政モニター調査を掲げられているが、もう少し市政モニター調査についての具体的な検討内容を説明してほしい。

#### ○永延桂子委員

7頁の「健康で生きがいがあるまち」の中に「⑤障害者の社会参加の推進と生きがいづくり」とあるが、参加だけでは生きがいなり喜びは少ないので、参加・参画として参画という言葉を追加してほしい。

#### ○川地東洋男会長

モニター調査の整備の問題については、本日は具体的な回答はできないが、当該の分科会と

も検討していく。外国人の問題等について、分科会の中で、十分配慮ができるような議論をして意見をとりまとめていただきたい。

○大森洋子委員

「人と情報が行き交うにぎわいのあるまち」の中に「③MICE 誘致の推進」とあが、一般市民の方にまだ浸透していない言葉は使わないほうがいいのではないかと。またわかりやすい言葉に置き換える方がいいのではないかと。

○川地東洋男会長

多くの市民のみなさんに読んでいただくことが目的なので、今言われた意見については十分配慮していただきたい。

■事務局

(事務局より、今後の進め方、協働ワーキングの取り扱い方について説明)

○吉田輝彰委員

協働ワーキングの提案は、事業計画への反映を検討することになっている。そうであるならば、今後の分科会において報告してほしい。

■事務局

基本計画案等につきましては分科会でのご審議をいただくので、実際に反映する内容等があれば分科会の中で説明していく。

○川地東洋男会長

事務局で定期的に分科会や、その他の会議で提起し情報を明らかにするということをご了承いただきたい。

○藤田八暉委員

(「久留米市及び久留米広域定住自立圏における環境エネルギー政策」の説明)

■事務局

(事務局より、今後の分科会の日程について説明)

### 3. 閉会

---

■事務局

(川地東洋男会長より閉会宣言)